



(4784)

2026年12月期 第2四半期決算説明資料

2026年8月14日

代表取締役 社長執行役員 伊藤 正

Copyright © GMO Internet, Inc. All Rights Reserved.

本日はお集まりいただきありがとうございます。
代表取締役 社長執行役員の伊藤でございます。
これよりGMOインターネット株式会社
2026年12月期 第2四半期 決算説明会を開始いたします。

1. 2026年第2四半期 決算サマリ

2. 成長戦略・各分野の進捗と施策

3. 株主還元について

4. 参考資料

2

本日のアジェンダはご覧の通りです。
決算の状況や成長戦略にそった各分野の進捗について
皆様にお伝えいたします。

1. 2026年第2四半期 決算サマリ

2. 成長戦略・各分野の進捗と施策

3. 株主還元について

4. 参考資料

ではまず、2026年第2四半期の決算状況についてご説明いたします。

	2025年Q2	2026年Q2	YoY	通期予想	通期進捗率
売上高	385億円	412億円	+7.2%	820億円	50.3%
営業利益	32.6億円	47.6億円	+46.2%	94.6億円	50.4%
経常利益	32.5億円	45.4億円	+39.5%	91.0億円	49.9%
親会社株主に 帰属する 中間純利益	24.1億円	30.8億円	+28.1%	59.0億円	52.3%

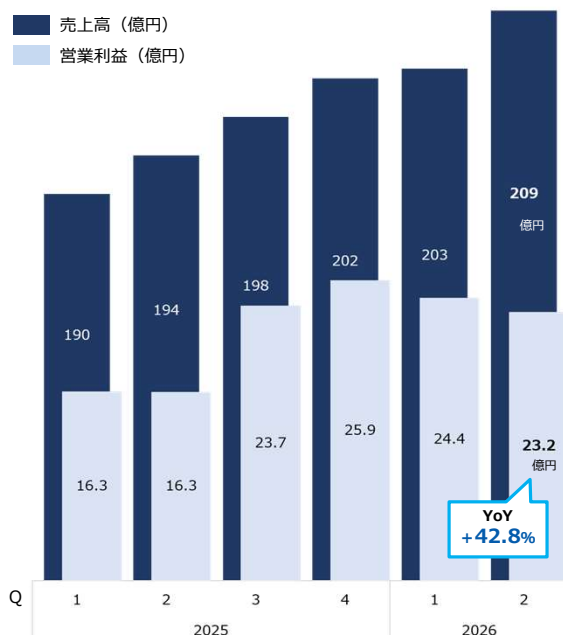
通期予想に対し
Q2時点で50%の進捗
進捗は順調

連結全体の業績状況です。

第2四半期累計の営業利益は47.6億円、前年同期比でプラス46.2%と、大幅な増益となりました。

通期予想に対する進捗率は、上期の折り返し時点でおおむね50%の水準を確保しており、

新体制2年目の上期として、全指標において通期予想に対し順調な進捗となりました。



売上高
YoY +15.0億円

増加要因

- ・ GPUクラウド事業 前年の立ち上げ期より大幅に取引増加

QoQ +6.0億円

増加要因

- ・ GPUクラウド事業の立ち上がりに加え、インターネット接続事業も反動減なく売上増

営業利益

YoY +6.9億円

増加要因

- ・ GPUクラウド事業の取引増加、インターネット広告事業の収益性回復により増加

QoQ ▲1.2億円

減少要因

- ・ インターネット広告事業のQ1繁忙期からの反動減

続いて、四半期ごとの売上高・営業利益の推移についてご説明いたします。

売上高は前四半期からプラス6億円の209億円、前年同期からプラス15億円となりました。

GPUクラウド事業の立ち上がりに加え、インターネット接続事業が繁忙期後の反動減なく売上を伸ばしたことが寄与しております。

営業利益は前年同期比でプラス6.9億円の23.2億円となりました。

GPUクラウド事業の取引増加に加え、インターネット広告事業の収益性が回復したことが増益要因です。

一方、前四半期比ではマイナス1.2億円と微減となっております。これはインターネット広告事業における第1四半期の繁忙期からの反動減によるものです。

連結業績サマリ（Q2累計・セグメント別）

		2025年Q2	2026年Q2	YoY
インターネット インフラ事業	売上高	319億円	358億円	+12.2%
	営業利益	35.7億円	45.3億円	+27.0%
インターネット 広告・メディア事業	売上高	68.0億円	58.2億円	▲14.4%
	営業利益	0.6億円	3.8億円	+476.4%
その他及び連結消去	売上高	▲2.7億円	▲4.3億円	▲56.5%
	営業利益	▲3.8億円	▲1.5億円	+58.5%

続いて、セグメント別の状況についてです。

こちらは短信に記載されているセグメントに分けております。

半期のYoYで見ますと、インターネットインフラ事業はGPUクラウド事業の立ち上がりにより大幅増益、

インターネット広告・メディア事業も収益性の回復により増益となっています。

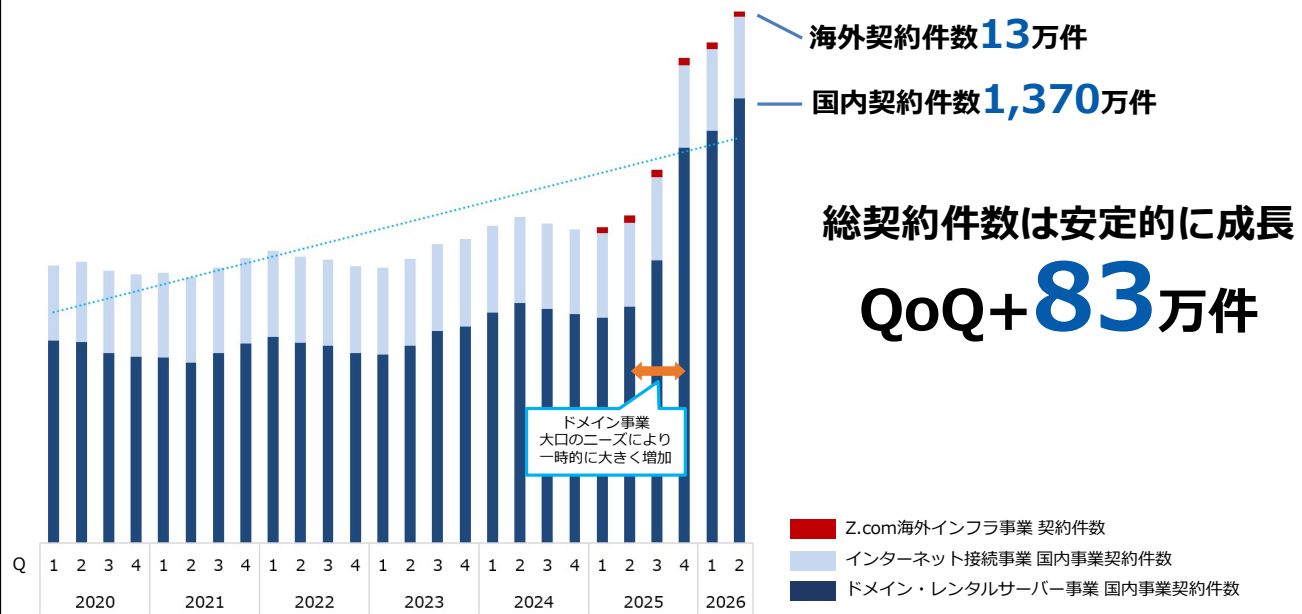
連結業績サマリ（Q2累計・セグメント内訳）

GMO INTERNET

				2025年Q2	2026年Q2	YoY
インターネット インフラ事業	ドメイン・ レンタル サーバー事業		売上高	98.2億円	115億円	+18.1%
			営業利益	17.8億円	31.0億円	+73.6%
	インターネット 接続事業		売上高	208億円	217億円	+4.3%
			営業利益	39.2億円	42.6億円	+8.8%
	インフラ その他	海外事業 インフラ事業 共通費等	売上高	13.0億円	25.5億円	+95.4%
			営業利益	▲21.3億円	▲28.3億円	▲32.5%
インターネット 広告・メディア事業	インターネット 広告・メディア 事業		売上高	68.0億円	58.2億円	▲14.4%
			営業利益	5.4億円	8.4億円	+54.4%
	広告・メディア その他	広告事業 共通費等	売上高	—	—	—
			営業利益	▲4.7億円	▲4.5億円	+4.4%
その他及び連結消去		全社共通費等 連結消去	売上高	▲2.7億円	▲4.3億円	▲56.5%
			営業利益	▲3.8億円	▲1.5億円	+58.5%

7

セグメントの内訳をさらにブレイクダウンしたものがこちらです。
各事業の状況はご覧の通りです。
こちらの前年比較や推移については、後ほどご説明させていただきます。



こちらは各事業における契約件数の推移です。

第2四半期末時点で、国内の契約件数は1,370万件、海外の契約件数は13万件となりました。

昨年第3四半期・第4四半期にはドメイン事業における大口のお客様のご契約により一時的に大きく増加いたしましたが、
足元ではその影響が落ち着いた上で、着実な積み上げが続いております。

1. 2026年第2四半期 決算サマリ

2. 成長戦略・各分野の進捗と施策

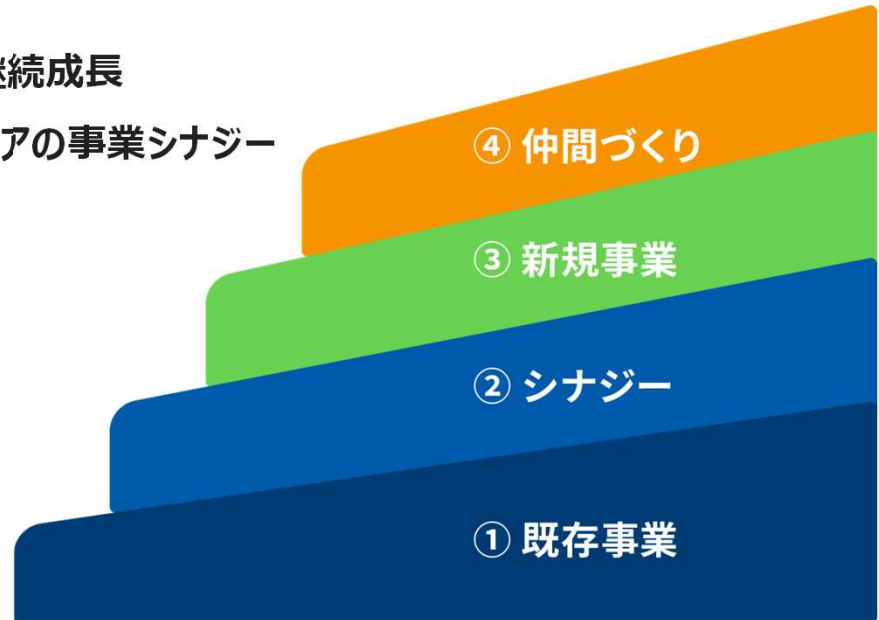
3. 株主還元について

4. 参考資料

9

続いて、成長戦略に沿って各分野の進捗状況をお話します。

- ① 既存事業の安定・継続成長
- ② インフラ×広告メディアの事業シナジー
- ③ 新規事業
- ④ 仲間づくり (M&A)



10

こちらの図は今後の成長戦略のイメージです。

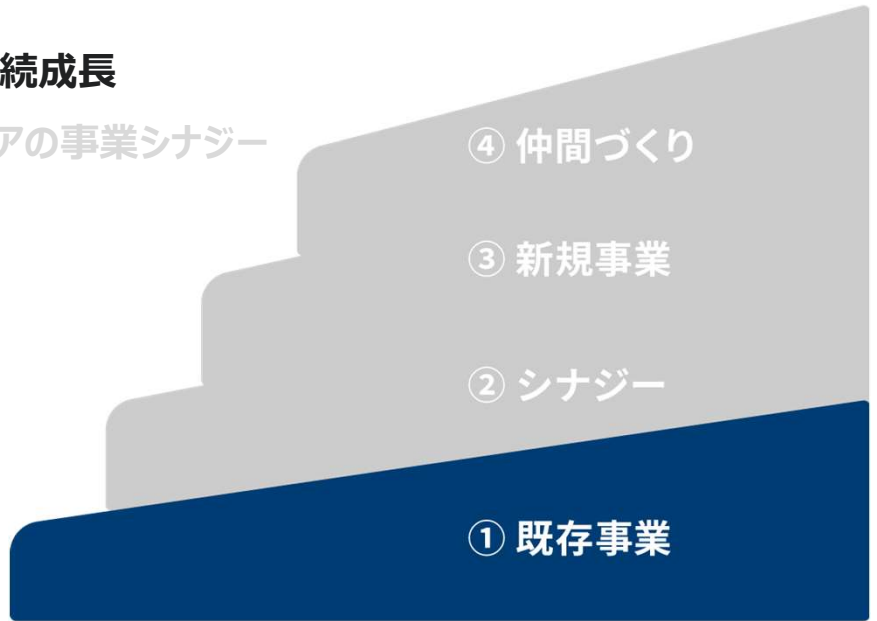
改めて内容についてご説明をさせていただきますと、この成長戦略は4つのカテゴリで構成しています。

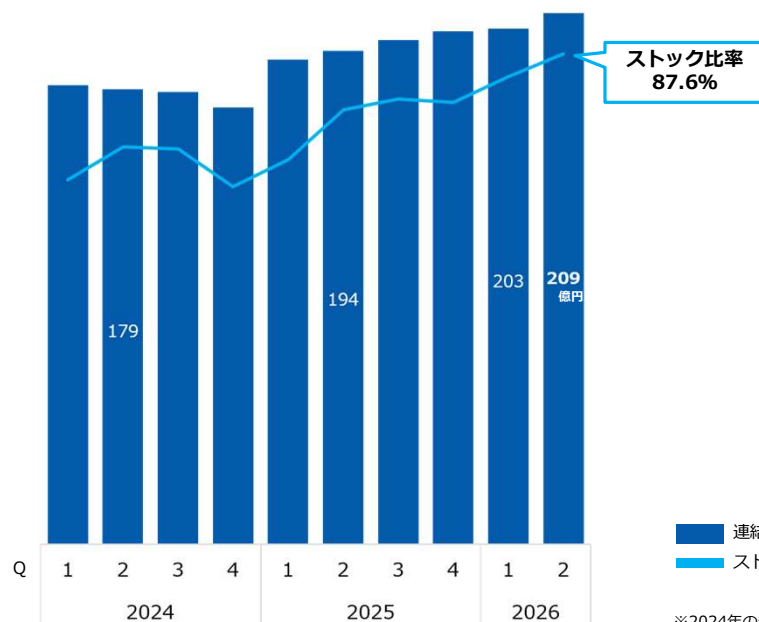
1つめに、強固な収益基盤であるインターネットインフラ事業などの既存事業を、安定的に継続成長させていきます。
これは当社のベースとなるところです。

2つめに、インフラ事業と広告メディアの事業シナジーにより 既存事業の更なる成長を見込んでいます。

3つめに、GMO GPUクラウドなどの新規事業を成長ドライバーと捉えております。

4つめに仲間づくりへの投資によって、利益規模の拡大と企業価値の向上を図ります。





**ストック比率は
高い水準を維持**

※2024年の数値については現体制であったと仮定した場合の概算数値を記載しております

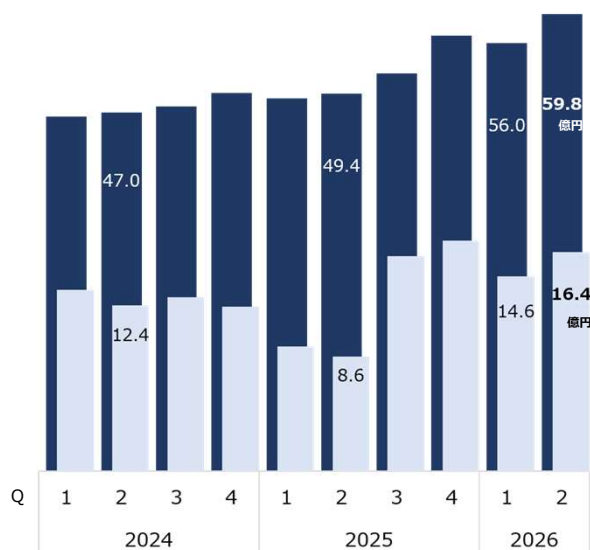
12

契約件数とあわせて、既存事業の収益基盤の指標としているストック比率です。

第2四半期の売上高におけるストック比率は87.6%となりました。

引き続き高い水準をキープしており、当社の安定的な収益基盤に継続的に寄与しております。

この岩盤ストック収益の下支えにより、GPUクラウドをはじめとする新規事業への投資と全社の利益成長を両立していきます。



**GPUクラウド
H200・B300
ともに高稼働**

既存事業は広告投資を継続

■ 売上高 (億円)
■ 営業利益 (億円)

※2024年の数値については現体制であったと仮定した場合の概算数値を記載しております

13

続いて、事業ごとの状況についてご説明いたします。
まずドメイン・レンタルサーバー事業の第2四半期の進捗です。

既存事業の状況が堅調であることに加え、GPUクラウド事業において、H200が高稼働を継続すると共に、今四半期でB300の稼働状況も好調であることから、前四半期および前年と比べ売上・利益ともに増加をいたしました。なお、既存事業においては前四半期より岩盤ストック収益を拡大するための広告投資が増加をしており、これは今四半期においても継続しています。

ConoHa VPS AIによるサーバー運用・AIエージェント活用を推進



**国内クラウド事業者初
主要AIエージェントからサーバー操作可能
ClaudeのコネクタからConoHaが選択可能**

**Hermes Agent、Open Clawなど
多数のAIエージェントが
すぐに利用可能な状態で提供※**

※ スタートアップスクリプトの提供を指します

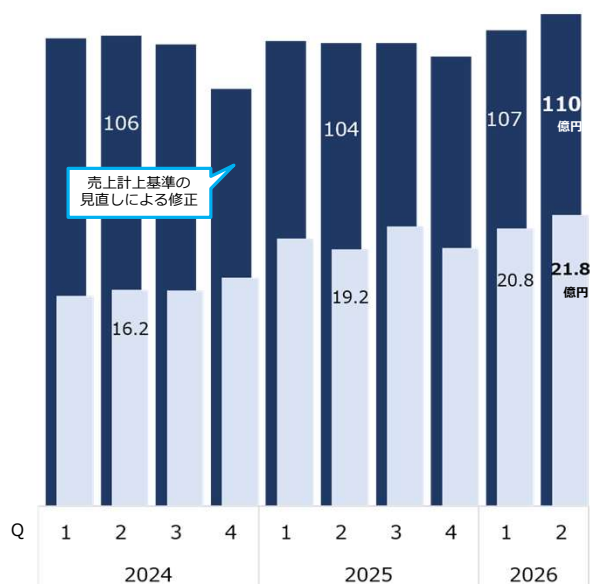
ドメイン・レンタルサーバー事業のトピックスです。
レンタルサーバーサービスConoHaでは、
AIによるサーバー運用とAIエージェントの活用を推進しています。

国内のクラウド事業者として初めて、アンソロピック社のClaudeをはじめとする
主要なAIエージェントから、自然言語でサーバーを操作できる環境の提供を開始
しました。

これにより、従来はコマンド操作の知識が必要だった作業を、対話形式で完結で
けるようになります。

また、Claudeとの連携をより簡単にするとともに
「ヘルメス・エージェント」や「Open Claw」をはじめとする、多数のスタート
アップスクリプトも提供しています。

これらにより、専門知識をお持ちでないお客様にも、より簡単に当社のサーバー
をお使いいただけるようにし、新規顧客の獲得と継続率の向上につなげてまいり
ます。



新規契約好調により
繁忙期後の反動もなく
売上・利益共に増加

広告投資は継続し
着実に利益積み上げ

※2024年の数値については現体制であったと仮定した場合の概算数値を記載しております

15

つぎに、インターネット接続事業です。

通常、第1四半期の引っ越しシーズンが繁忙期にあたり、第2四半期はその反動を受けやすいのですが、当第2四半期は新規契約の獲得が好調に推移したことで、反動減もなく売上・営業利益ともに増加しております。

これまで実施してまいりました販売ミックスの改善に加え、広告投資も継続して実施しており、足元および将来の利益の積み上げを図ってまいります。

ドコモ光のプロバイダー
満足度で選ぶなら

GMO
とくとくBB

とくとくBB
by GMO

UQ
WiMAX

ポケット型Wi-Fiタイプ

外出先等持ち運んで
利用する方におすすめ



ホームルータータイプ

家やオフィスなど
固定の場所での利用におすすめ



光回線（ドコモ光）
ホームルーター（WiMAX）
新規契約獲得が好調
売上・利益増をけん引

コンシューマー向け事業の新規契約の獲得状況ですが、ドコモ光、およびホームルーターの新規契約獲得が前年を上回り、好調に推移をしています。

積極的なマーケティング活動や広告投資の効果が着実に表れているものと認識しております。

引き続き、投資を継続することで岩盤ストック収益の積み上げを図ってまいります。



GMO
INTERNET GROUP

株式会社未来ロボット

GMO
INTERNET

GMO CYBER SECURITY
IERAE

GMO
AI & ロボティクス商事

ロボティクス分野における インターネット接続インフラをサポート

17

もう一つのトピックスとして、フィジカルAI・ロボティクス分野への展開がございます。

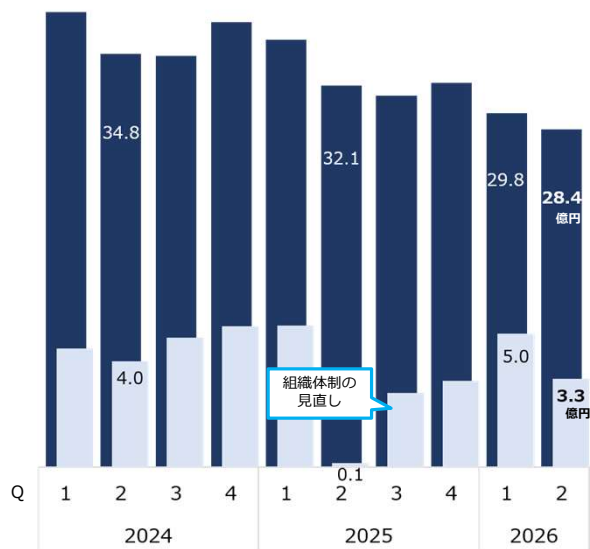
当社は個人のお客様向けプロバイダーサービスのみならず、法人のお客様向け通信サービスを展開しております。

このたび、GMOインターネットグループは、

陸上自衛隊が推進する警備用ロボットシステムの導入検証に係る業務を受託し、当社は通信インフラおよび回線技術の提供を行います。

省人化と24時間警備体制の実現を目指し、現在全国複数の自衛隊駐屯地で実証を行っております。

ロボットの遠隔制御やデータ連携には、安定した低遅延の通信基盤が不可欠です。2万回線の導入実績を持つ法人向けインターネット接続事業のノウハウを活かし、成長領域のデジタルインフラを支えてまいります。



生産性が向上
利益面で
前年同期から改善

※2024年の数値については現体制であったと仮定した場合の概算数値を記載しております

続いてインターネット広告・メディア事業の状況です。
昨年第3四半期に実施した組織体制の見直しの効果により、生産性が向上し、利益水準は前年から大きく回復いたしました。
売上の状況を注視しつつ、ストック商材の比率を高めることで、安定的な事業基盤の確立を進めてまいります。

GMO NIKKO

AIO支援の強化

**AIO対策（AI検索最適化）
包括支援ツール提供開始**

**AIO対策を行う上で必要なデータを
一元で収集・可視化**



19

広告・メディア事業のトピックスとして、AIO支援の強化についてご説明いたします。

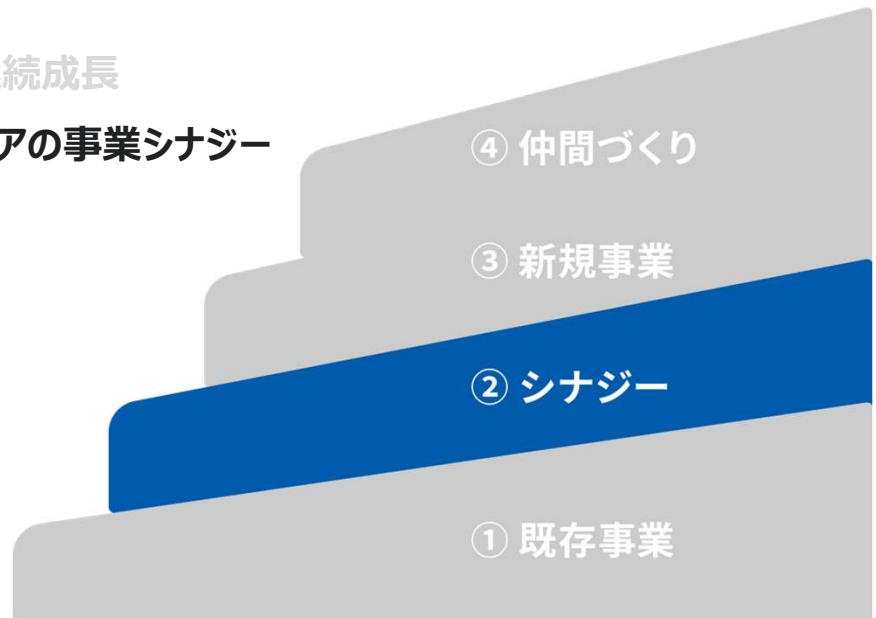
生成AIによる検索行動が広がるなか、AI検索上でいかに自社が参照されるかという「AIO対策」の重要性が高まっています。

こうした中、当社ではAIO対策に必要なデータを一元で収集・可視化するツールの提供を開始しました。

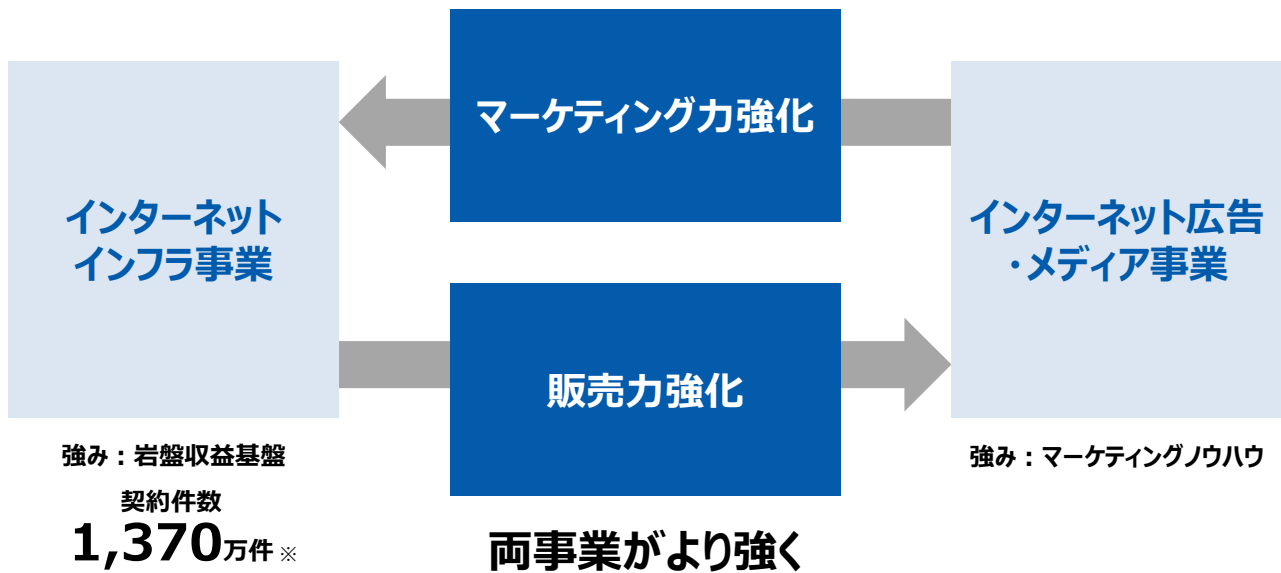
広告・メディア事業では、売上の安定化に向けてストック商材の比率を高めており、本ツールをその中核商材と位置づけております。

今後はインフラ事業のお客様基盤への提供も進め、シナジーによる売上拡大を目指してまいります。

- ① 既存事業の安定・継続成長
- ② インフラ×広告メディアの事業シナジー
- ③ 新規事業
- ④ 仲間づくり (M&A)



それでは続いて、インターネットインフラ事業とインターネット広告・メディア事業のシナジーに関する取り組み状況についてご説明いたします。



※2026年6月末時点 国内件数

21

こちらはインフラ事業・広告メディア事業間のシナジーに関する基本方針をまとめた図です。

広告メディア事業のマーケティング力をインフラ事業の新規顧客獲得に活用するほか、インフラ事業の岩盤収益基盤のお客様に対し、広告メディア事業の商品を販売していくことで売上の更なる拡大が可能であると考えています。

先ほどインターネット広告・メディア事業のトピックスで触れた、インフラ事業のお客様基盤へのAIO対策ツール提供もこの取り組みの一例となります。

これまでの取り組み



**お名前.comの顧客向け
割引プラン提供
送客とストック収益化を図る**



**インターネット接続事業の
既存顧客向け優待サイトを
広告メディア事業のノウハウで
運営**

22

これまでの取り組みについて、改めてご紹介させていただきます。

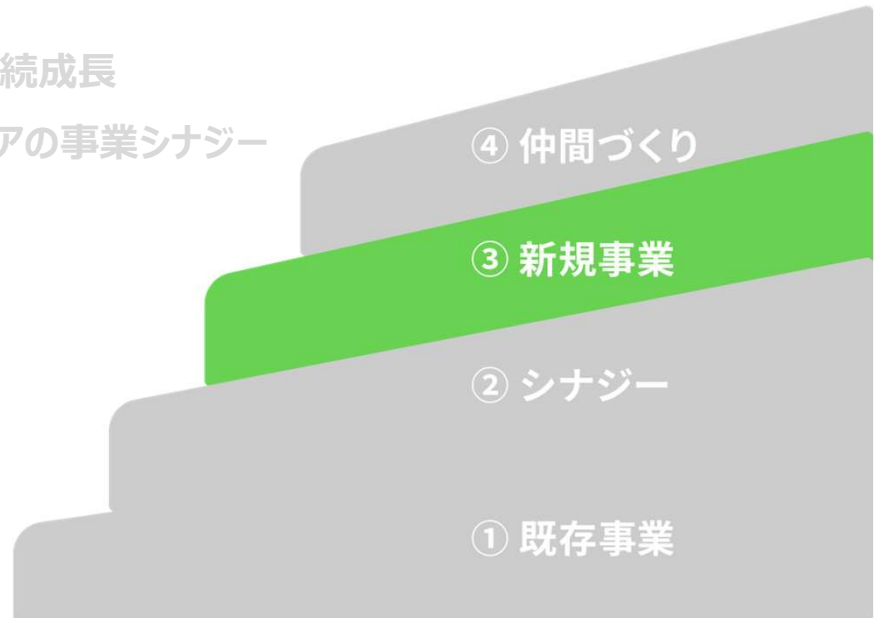
お名前.comのお客様向けには、「GMO AIかんたん集客」の割引プランを提供しています。

これにより、強固な顧客基盤からの送客と、ストック収益化を進めてまいります。

また、インターネット接続事業の既存顧客向け優待サイトを広告メディア事業で得た

媒体運営ノウハウを活用して運営することにより、お客様の満足度アップを図っています。

- ① 既存事業の安定・継続成長
- ② インフラ×広告メディアの事業シナジー
- ③ **新規事業**
- ④ 仲間づくり (M&A)



続いては、新規事業GMO GPUクラウドの状況についてご説明させていただきます。



NVIDIA HGX B300 GPUサーバー25台

**2026Q1
全台提供開始**

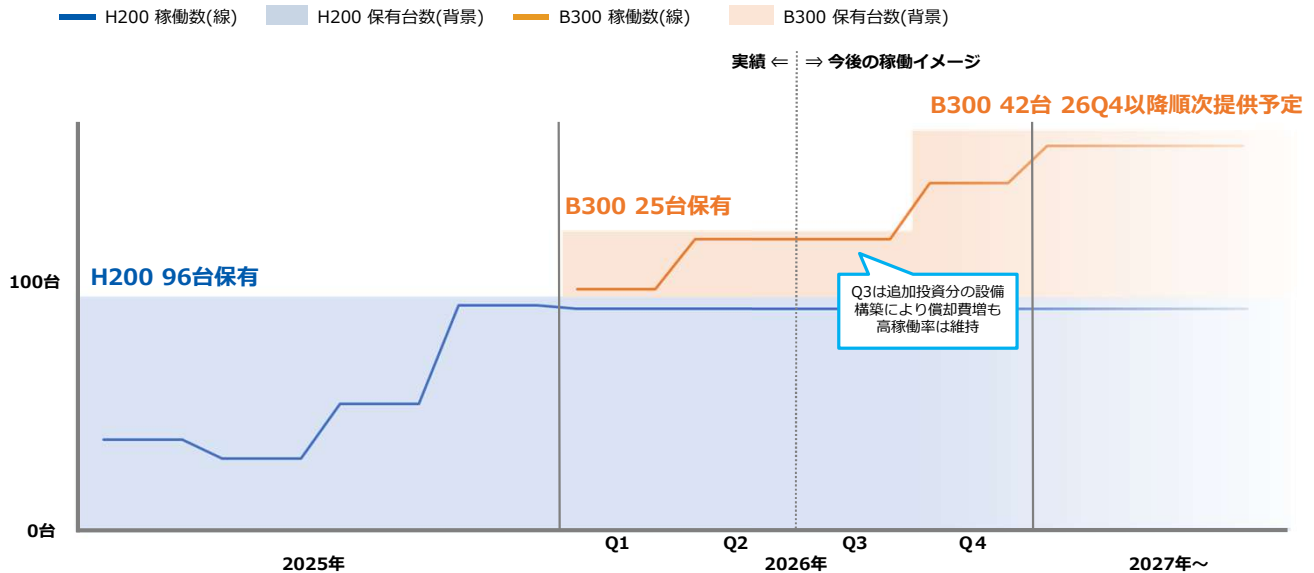
**2026Q2
90%以上の高稼働率**

24

昨年末よりサービス開始したB300GPUサーバーですが、2026年第1四半期のあいだに予定していた25台がすべて提供可能となりました。そして第2四半期におきましては、この25台が90%以上の高い稼働率で推移しております。

今後の設備投資の見通しと稼働状況の詳細について、次のスライドでご説明いたします。

サーバ保有台数・稼働状況（イメージ）



25

こちらは、2025年から2026年におけるサーバーの台数・稼働状況のイメージです。

H200は2025年第4四半期から継続して高稼働を維持しております。
 2026年第1四半期より全台の提供を開始したB300については、先ほどもお話した通り、第2四半期におきまして稼働率が上昇しました。
 旺盛な市場需要を背景に、B300サーバー42台への追加投資を決定しており、こちらは本年第4四半期以降、順次提供を開始いたします。
 なお第3四半期は、追加投資分の設備構築に伴い償却費の増加を見込んでおりますが、高稼働率は維持できる見通しです。

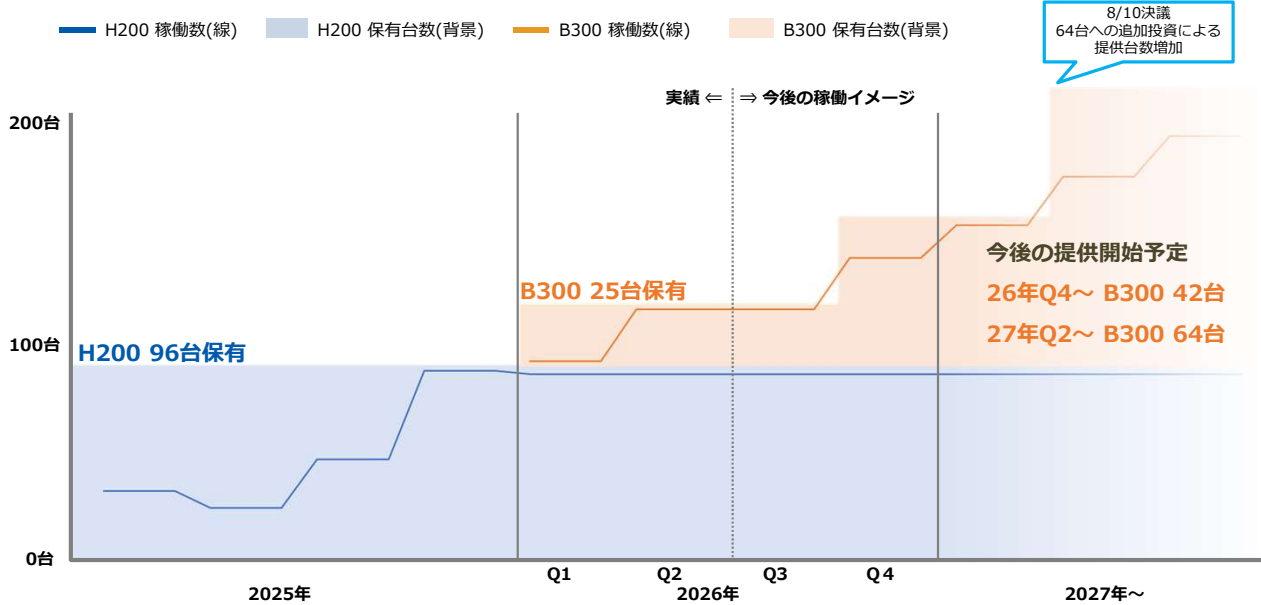
投資実績 / 計画

2023/12	●	NVIDIAパートナープログラム参画
2024/ 2	●	NVIDIA H200 搭載GPUサーバーへの約 100億円 (GPUサーバー96台) の投資を決定
2024/ 4	●	経済産業省による「クラウドプログラム」供給確保計画の認定を取得。 最大19.25億円 の助成予定を公表
2024/11	●	「GMO GPUクラウド」サービス開始 (H200 搭載GPUサーバー)
2025/ 3	●	ストレージ 2.5PiBへ 2億円 の投資を決定
2025/ 8	●	B300 搭載GPUサーバー25台へ 22億円 の投資を決定
2025/12	●	B300 搭載GPUサーバー サービス開始
2026/ 4	●	B300 搭載GPUサーバー 42台へ 69億円 の投資を決定
2026/ 8	●	B300 搭載GPUサーバー 64台へ 101億円 の投資を決定
稼働状況を勘案しつつ、追加投資を継続		

B300 GPUサーバー
初回25台 (26Q1 提供開始) **に加え**
4月に42台 (26Q4 提供予定)
8月に64台 (27Q2 提供予定)
の追加投資を決定
需要環境を鑑み
投資計画を前倒し

続いて、これまでの設備投資実績と今後の計画です。
 8月10日に開示をいたしました。既存サーバーの稼働やお客様の需要が好調であることを鑑み、
 さらにB300搭載サーバー 64台への追加投資を決議しました。
 すでに決定しておりました42台と合わせて計106台の増設予定となっております。

サーバ保有台数・稼働状況（イメージ）



27

そしてこちらが、8月10日決議分の投資を反映した、サーバーの台数・稼働状況のイメージです。

追加の64台につきましては、2027年第2四半期に提供を開始する予定です。以降も稼働状況と需要を勘案しつつ、追加投資を継続する方針です。

調達資金 総額 202億円

GPUクラウド事業への投資

調達時計画

197 億円

実行額

202 億円

投資進捗

済 101 億円

今回決議 101 億円

Turing出資 : 32 億円 (3/18 決議)

当初計画 : 残り96億円を
2027/12までに投資予定

B300 42 台調達 : 69 億円 (4/10 決議)

B300 64 台調達 (2026/8/10 決議)
増額 + 前倒し

※当初計画では調達資金とGPUクラウド事業への投資金額の差額は借入返済充当予定。上記投資額は税抜金額であり、実際のキャッシュアウトには消費税等が含まれます。

28

B300 64台への追加投資をもって、先般の公募増資で調達した202億円について、
全て投資方針が決議された形となります。
調達時の投資計画としては2027年末までの投資完了を想定しておりましたが、需
要が好調であることから前倒しでの実施となりました。

EDRセキュリティ監視を標準搭載 GMOサイバーセキュリティ by イエラエ社のSOCと連携



**各GPUノードにEDRを導入し
不審な挙動を可視化**

**安心して開発・研究に
専念いただける環境の提供**

EDR (Endpoint Detection and Response) :
PCやサーバーなどのエンドポイントにおける脅威をリアルタイムで検知・分析・対応するセキュリティソリューション

29

GPUクラウド事業のトピックスとして、セキュリティ面の強化についてご説明いたします。

このたび、GMO GPUクラウドにEDRによるセキュリティ監視を標準搭載いたしました。

EDRとは、PCやサーバーなどのエンドポイントにおける脅威をリアルタイムで検知・分析・対応するセキュリティソリューションです。

グループ会社のGMOサイバーセキュリティ by イエラエ社のSOCと連携し、各GPUノードにEDRを導入、不審な挙動を可視化しております。

AI開発においては、学習データやモデルそのものが極めて重要な資産となります。お客様に安心して開発・研究に専念いただける環境を提供することが、当社が選ばれる理由になると考えております。

グループ内の専門会社と連携できる点は、当社ならではの強みでございます。

イベント出展を通じた認知拡大・リレーション構築

AI研究の学術会議
JSAI2026
(人工知能学会全国大会)



2026年6月8日（月）～6月12日（金） Gメッセ群馬

[出展レポートはこちら](#)
[セミナー登壇レポートはこちら](#)

ネットワーク運用技術カンファレンス
JANOG58 Meeting



2026年7月15日（水）～7月17日（金） 愛媛県県民文化会館

[出展レポートはこちら](#)

GPUクラウド事業では、イベント出展を通じた認知拡大とリレーション構築にも取り組んでおります。

直近では、AI研究の学術会議である「人工知能学会 全国大会」、ネットワーク運用技術のカンファレンスである「JANOG Meeting」に出展しております。

GPUクラウドのお客様は研究機関やAI開発企業が中心でございます。こうした場での直接の対話を通じて技術者コミュニティにおける認知を高め、商談機会の創出につなげてまいります。

- ① 既存事業の安定・継続成長
- ② インフラ×広告メディアの事業シナジー
- ③ 新規事業
- ④ 仲間づくり (M&A)



つづいて仲間づくり、一般的に言うM&Aの状況につきましてご報告させていただきます。

積極的仲間づくり (M&A) で成長加速



テーマ

- ・ 既存事業のシェア拡大
- ・ スtock型商品の強化
- ・ グループ内の組織再編

32

こちらは当社の仲間づくりに関する基本方針です。

インフラ事業・広告事業の更なるシェアアップ、
岩盤収益がさらに強化されるストック商材の仲間づくり、
またグループ内の再編といったテーマをもとにご一緒できる仲間を探してまいります。

今四半期に関しては発表できる内容はございませんが、検討は適宜進めておりますので、
今後発表できる内容がありましたらお知らせをさせていただきます。

公募/売出完了を受け 積極的に推進

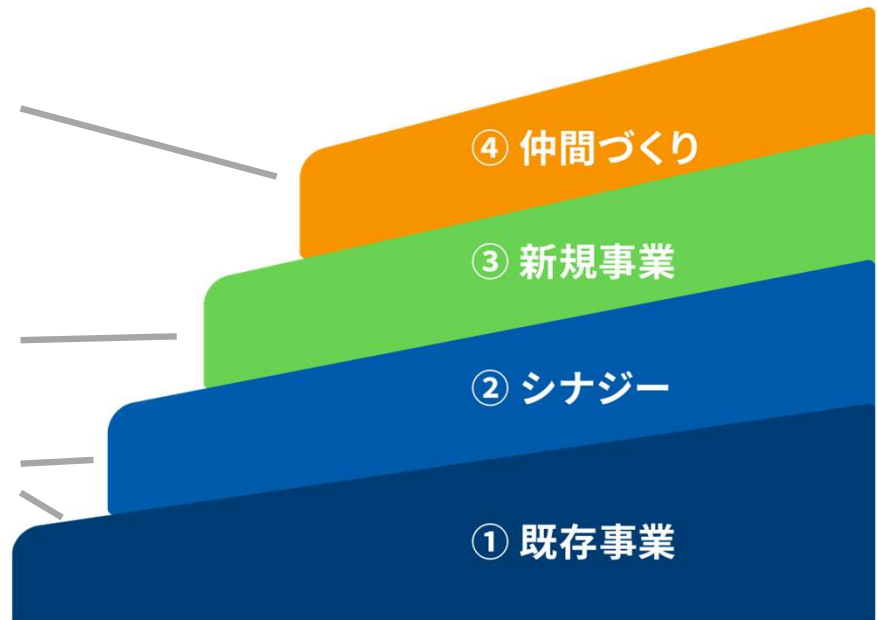
資本政策上の制約が解消
検討・協議を機動的に推進

調達資金による GPUへの投資実行

101億円をGPU等の設備投資に充当
(2026/8/10決議)

既存事業の安定・継続成長

岩盤ストック収益の15%成長を下支えに、
新規事業/仲間づくりへの投資と
安定した全社の利益成長を両立



4月に発表した公募・売出の完了を受けた今後の方針について、改めてご説明します。

今回の公募・売出の完了によって資本政策上の制約が解消されましたので、仲間づくりに関し、候補となるお相手の検討や協議など、これまでも増して機動的に推進してまいります。

岩盤ストック収益の成長を下支えとしながら、新規事業および仲間づくりへの投資と、安定した全社の利益成長を両立させてまいります。

1. 2026年第2四半期 決算サマリ

2. 成長戦略・各分野の進捗と施策

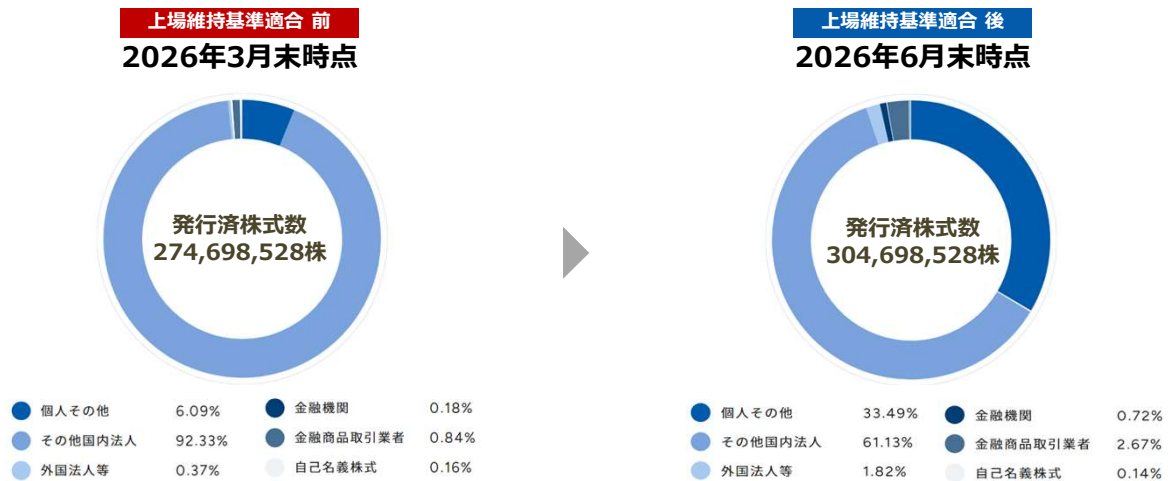
3. 株主還元について

4. 参考資料

34

つづいては、株主還元についてです。

株式流通比率は7.7% → **41.5%** と改善



株主還元についてお伝えする前に、まず当社の株式の状況について、公募売出の前後の状況をお伝えいたします。

公募売出を行った結果、株式流通比率が41.5%となり、プライム市場の上場維持基準に適合いたしました。

また、株主構成に関しても大きく変動をいたしました。引き続き、企業価値の向上につとめてまいります。

一株当たり
四半期純利益

4.85円

×

配当性向

100%[※] (65% + 35%)
(基本配当性向) (記念配当)

＝

Q2配当

4.85円

※自己株式の控除調整実施前の配当性向となります

※記念配当は2025年－2026年の2年間を予定しております

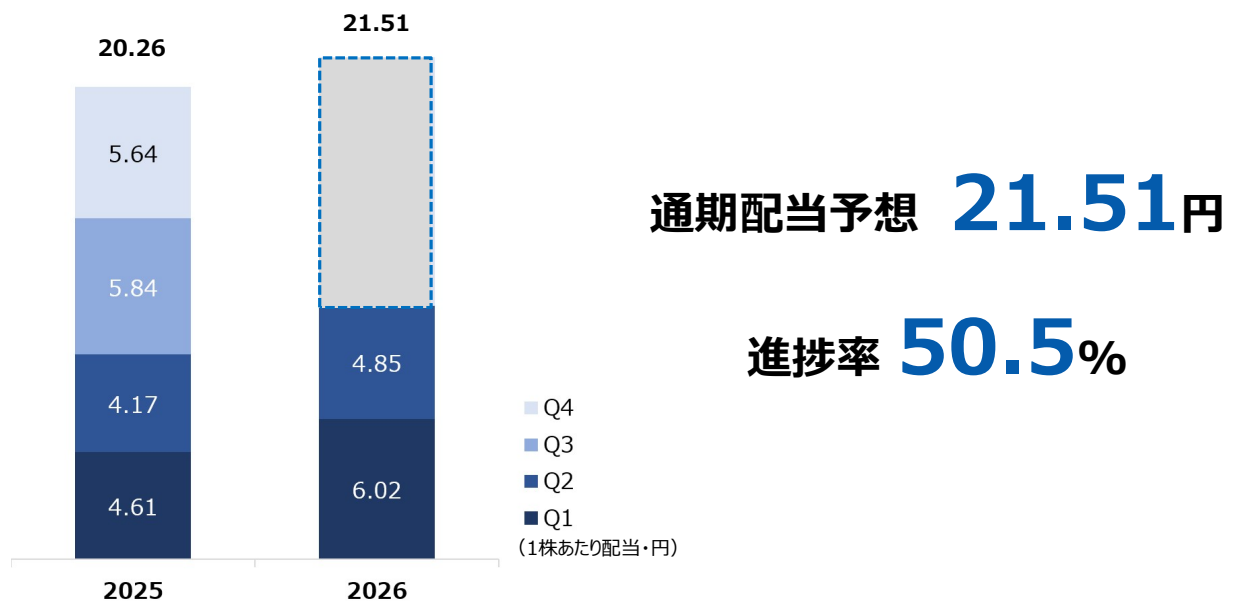
36

こちらが今四半期の配当の状況です。

前年度から四半期配当を実施するとともに、プライム市場への変更による記念配当により、
基本配当性向65%、記念配当性向35%、合計して配当性向100%での配当を2年間行います。

よって、1株当たりの四半期純利益、4.85円を100%配当させていただきます。

1株あたり通期・四半期配当推移



37

今期の配当予想については、1株あたり21.51円となっております。
今四半期の配当に対する進捗は、50.5%となりました。

- ▶ 第2四半期の進捗は順調（営業利益 YoY + 46.2%）
開示予想に対し50%超の進捗
- ▶ GPUクラウド事業 B300の販売は好調
B300 64台 101億円の追加投資を決議
- ▶ 新規事業の利益増加を背景に既存事業は
広告投資を強化、岩盤ストック収益の増加を図る
- ▶ 四半期配当実施・配当性向100%は継続※

※記念配当は2025年・2026年の2年間を予定しております

38

最後に、本日のポイントについてまとめます。

まず、第2四半期の進捗は順調です。前年対比を営業利益が大きく上回るとともに、開示予想に対し50%超の進捗で上期を折り返すことができました。

次に、GPUクラウド事業につきましては、B300の販売が好調に推移しております。追加投資分の42台は年内の提供開始を予定するとともに、B300 64台への追加投資を決議いたしました。

また、新規事業の利益増加を背景に、既存事業では広告投資を強化し、岩盤ストック収益のさらなる増加を図ってまいります。

配当については2026年においても100%配当を行うとともに、四半期配当の実施を継続してまいります。

すべての人にインターネット

GMO

ご説明は以上でございます。
ご清聴、誠にありがとうございました。
すべての人にインターネット

1. 2026年第2四半期 決算サマリ

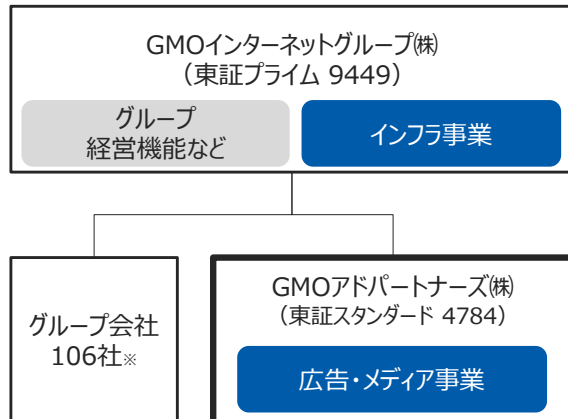
2. 成長戦略・各分野の進捗と施策

3. 株主還元について

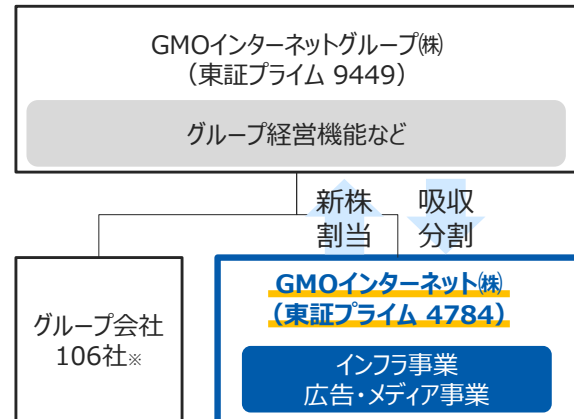
4. 参考資料

GMOインターネットグループ[㈱]の事業を、GMOアドパートナーズ[㈱]へ承継し、
GMOインターネット[㈱]に社名変更。GMOインターネットグループ[㈱]は持株会社化。

～2024.12.31



2025.1.1～



※2024年12月時点

連結パートナー（社員）数

国内：1,139名 海外：869名 （2026年6月末時点）

拠点

東京・仙台・大阪・北九州・福岡・宮崎・沖縄
タイ・ベトナム・フィリピン・モンゴル・ミャンマー・ラオス

2025年 売上高

785億円

連結グループ会社

GMO NIKKO GMO INSIGHT Z.com 海外9社

企業サイトURL

<https://internet.gmo/>

代表者

代表取締役 社長執行役員 伊藤 正

インターネットインフラ事業

ドメイン事業

個人・法人顧客に対し、ウェブサイトの住所に
当たるドメインの登録・販売（レジストラ）
サービスを提供



クラウド・レンタルサーバー （ホスティング）事業

個人・法人顧客がオンラインビジネスや情報発
信を行う環境として、インターネットのインフラ
（サーバー）を提供



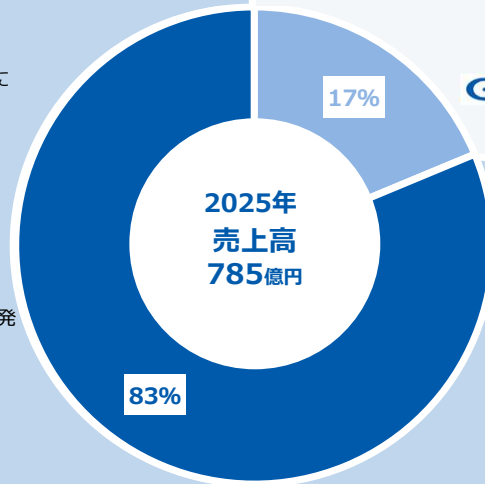
インターネット広告・メディア事業

Webマーケティングソリューションの提供
自社運営のオンラインメディアを展開



インターネット接続 （プロバイダー）事業

1995年の創業以来、個人・法人顧客に対して
信頼性の高い光回線・モバイル回線による
インターネット接続サービスを提供



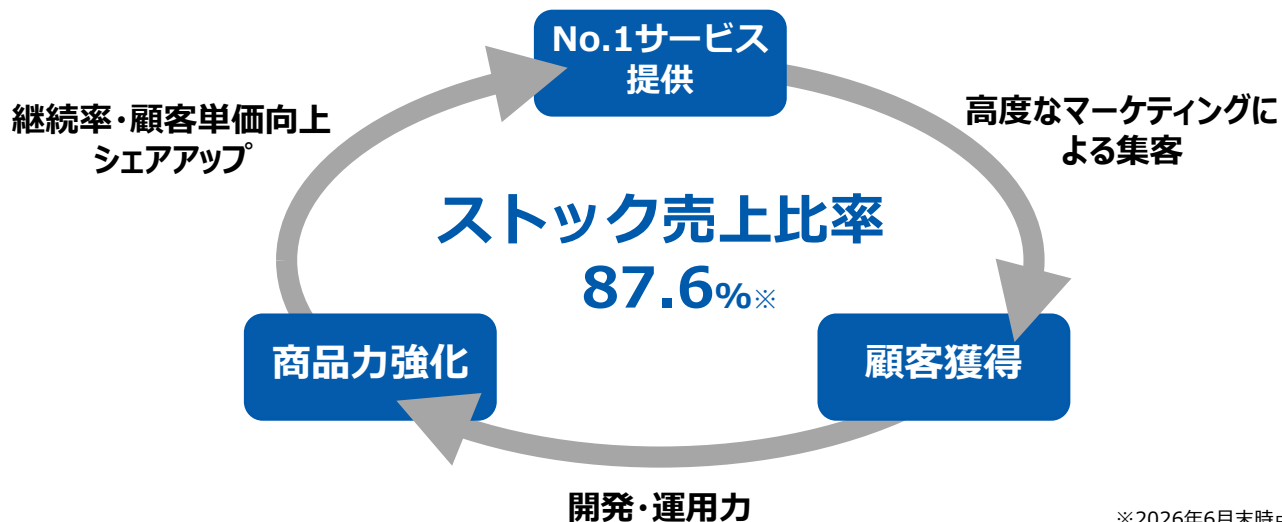
無くならない、無くてはならない
かつ
継続課金の商材



契約件数 **1,370**万件 ※

※2026年6月末時点 国内件数

No.1サービスの提供およびマーケティング力の強化により顧客開拓・獲得の加速を目指す
経験豊富なエンジニアの開発力を活用し、高品質なサービスの提供や満足度・継続率の向上を目指す



※2026年6月末時点

目的	東証プライム市場 上場維持基準の充足 GPUクラウド事業における投資資金調達
株数	新株発行：3,000万株 株式売出：6,150万株（OA分を除く・GMO-IG（株）より売出）
発行価格（募集価格）	710円
資金調達額	202億円
上場維持基準 流通株式比率	7.7% → 41.5% となり上場維持基準適合

GMO INTERNET



2026 年 5 月 14 日

各 位

住 所 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
 会 社 名 GMO インターネット株式会社
 代 表 者 代表取締役 社長執行役員 伊藤 正
 (コード番号 4784 東証プライム)
 問い合わせ先 執行役員 菅谷 俊彦
 T E L 03-5728-7900
 U R L <https://www.internet.gmo/>

上場維持基準への適合に関するお知らせ (プライム市場継続上場に係る全基準への適合完了について)

当社は、2026 年 3 月 9 日「上場維持基準への適合に向けた計画（改善期間入り）」において、上場維持基準への適合に向けた計画を開示しておりました。この度、株式会社東京証券取引所より上場維持基準（分布基準）への適合状況に関する適合判定通知を受領し、2026 年 4 月 28 日時点において、東京証券取引所プライム市場におけるすべての上場維持基準に適合しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況

当社の、東京証券取引所プライム市場の上場維持基準の適合状況は下表のとおりとなっております。2025 年 12 月末時点では、流通株式比率について基準に適合しておりませんでしたが、上場維持基準への適合に向けた計画に基づき取り組みを進めた結果、2026 年 4 月 28 日時点で適合いたしました。これにより、東京証券取引所プライム市場の上場維持基準のすべての項目に適合することとなりました。

市場区分		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率
プライム市場上場維持基準		800 人以上	20,000 単位	100 億円	35.0%
当社の 適合状況 (※1)	2025 年 12 月末時点	25,335 人	212,614 単位	186 億円	7.7%
	2026 年 4 月 28 日時点	適合済	適合済	適合済	41.5%
2026 年 4 月 28 日時点の 適合状況 (※2)		—	—	—	適合

※1：当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株主等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

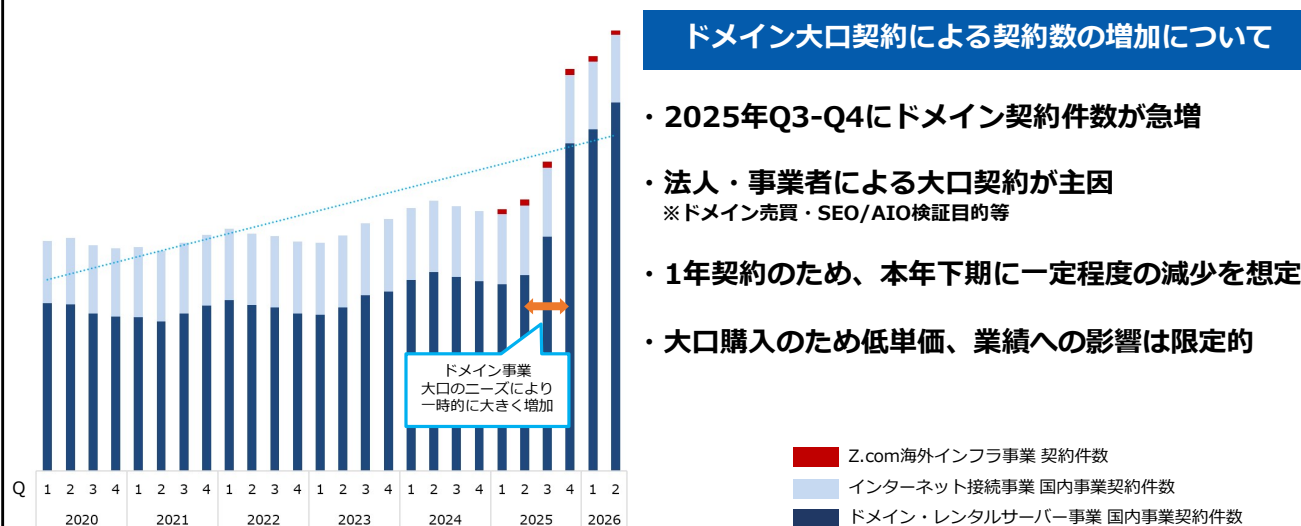
※2：2025 年 12 月末時点で不適合であった流通株式比率のみ東京証券取引所からの審査を受け、その結果を記載しております。

2. 上場維持基準への適合に向けた取り組みの実施状況

当社は、2026 年 4 月 10 日「新株発行及び株式の売出しに関するお知らせ」のとおり、①新規事業である GPU クラウド事業における成長資金調達、②東証プライム市場上場維持基準への適合、③流動性の向上及び個人投資家層を中心とした株主層の拡大を目的として、同日付の取締役会決議により、新株発行及び株式の売出しを行うことを決定し、実施いたしました。この結果、不適合であった「流通株式比率」についても適合となり、上場維持基準のすべての項目に適合いたしました。

今後も、継続して東京証券取引所プライム市場における上場維持基準に適合していきよう、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

以上



(単位：百万円)

流動資産		流動負債	
現預金	33,493	買掛金	3,147
受取手形、売掛金及び契約資産	11,536	短期借入金	5,000
前払費用	6,720	1年以内返済長期借入金	1,381
その他	2,423	未払金	6,457
流動資産合計	54,174	契約負債	10,842
固定資産		その他	6,326
工具器具備品	4,399	流動負債合計	33,155
リース資産	4,706	固定負債	
その他	980	長期借入金	3,432
有形固定資産合計	10,086	リース債務(長期)	4,049
のれん	1,283	その他	285
ソフトウェア	2,002	固定負債合計	7,767
その他	553	負債合計	40,922
無形固定資産合計	3,839		
投資有価証券	5,078	株主資本	
繰延税金資産	1,490	資本金	10,691
その他	570	資本剰余金	19,715
投資その他の資産合計	7,139	利益剰余金	3,211
固定資産合計	21,065	自己株式	▲179
		株主資本合計	33,439
		その他の包括利益累計額	342
		自己資本合計	33,782
		新株予約権	306
		非支配株主持分	227
		純資産合計	34,316
資産合計	75,239	負債純資産合計	75,239

現預金・資本金・資本剰余金
：公募増資による増加

投資有価証券
：Turingへの出資による増加

セグメント	サブセグメント	内訳
インターネット インフラ事業	ドメイン・ レンタルサーバー事業	  
	インターネット接続事業	 
	インターネットインフラ事業 その他	海外事業 インフラ事業 共通費等
インターネット広告 ・メディア事業	インターネット広告 ・メディア事業	 
	インターネット広告 ・メディア事業 その他	広告事業 共通費等
その他及び連結消去		全社共通費等 連結消去

- ・決算短信においては、セグメント別の売上・営業利益を開示しております。
- ・当決算説明資料における区分は、決算短信のセグメントに関し内訳を詳細にご説明できるようサブセグメントを設けております。
- ・各セグメント内におけるサブセグメントの合算値がセグメントの値と同一となるよう区分をしております。

セグメント	サブセグメント	内訳
インターネット インフラ事業	ドメイン・ レンタルサーバー事業	  
	インターネット接続事業	 
	インターネットインフラ事業 その他	海外事業 インフラ事業 共通費等
インターネット広告 ・メディア事業	インターネット広告 ・メディア事業	 
	インターネット広告 ・メディア事業 その他	広告事業 共通費等
その他及び連結消去		全社共通費等 連結消去

既存事業
 (GPUクラウドを除く、ドメイン・レンタルサーバー事業およびインターネット接続事業)
 : ストック性の高い収益構造を有する事業です。
 結果として、大きなボラティリティや季節要因による変動は発生しにくい構造です。

新規事業 (GPUクラウド)
 : 25年Q4を目処に立ち上げフェーズは終了しています。
 状況を見て追加の設備投資を行う可能性があります。

海外事業の売上高および全社共通費の配賦が含まれます。
 共通費の配賦に関しては、固定費的性格が強いものです。

インターネット広告事業は年末予算消化など、季節性による変動の影響を受けます。
 25年Q3に組織見直しによるコスト削減を行いました。

全社共通費の配賦が含まれます。
 共通費の配賦に関しては、固定費的性格が強いものです。

全社共通費のうち配賦されなかった費用および連結消去がここに含まれます。

※1 : 本資料は各事業の構造および傾向に関する考え方を示したものであり具体的な業績予想や数値水準を示すものではありません。
 ※2 : インターネットインフラ事業及びインターネット広告・メディア事業における「その他」に含まれる共通費に関しては、2025年1月のGMOインターネットグループからの事業譲受前の事業別実績と近い基準で各事業の推移を比較することを目的とし、各事業に紐づく共通費や配賦分の共通費を切り出しているものです。

【取締役】



取締役会長
熊谷 正寿



代表取締役
社長執行役員
伊藤 正



取締役
副社長執行役員
広告メディア事業担当
橋口 誠



取締役
安田 昌史

【監査等委員である取締役】



取締役監査等役員
岩濱 みゆき



取締役監査等役員
杉野 知包



取締役監査等役員
鮎川 拓弥

【執行役員】



副社長執行役員
システム部門担当
山下 浩史



専務執行役員
ネットワークソリューション事業本部長
林 泰生



専務執行役員
ドメイン・クラウド事業本部長
児玉 公宏



執行役員
経営本部長
菅谷 俊彦



執行役員
GMO NIKKO株式会社
代表取締役社長
佐久間 勇



執行役員
GMOインサイト株式会社
代表取締役社長
徳永 伸一郎



執行役員
シナジープロジェクト担当
齋藤 稔



執行役員
システム本部長
牧田 哲



執行役員
事業成長推進室長
安永 成志

本資料取扱い上のご注意

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2026年8月14日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に引用しております各社商標、著作物等知的財産権、並びに肖像権その他一切の権利は、当該知的財産権を有する各権利者並びにその権利の主体に帰属します。

GMOINTERNET